

# 桑名市スポーツ推進計画

平成 31（2019）年度～平成 36（2024）年度



だれもがスポーツに親しみ、  
健康に暮らせるまち桑名  
～スポーツをとおして  
だれもが幸福で豊かに～

桑名市

# 目次

<b>第1章 計画の策定概要</b> .....	1
1 計画策定の趣旨 .....	2
(1) 計画策定の主旨と意義 .....	2
(2) 計画におけるスポーツの定義 .....	2
2 計画の位置づけと期間 .....	3
(1) 「桑名市総合計画」との関係 .....	3
(2) 市の他の計画との関係 .....	3
(3) 計画期間 .....	3
<b>第2章 計画策定の背景</b> .....	5
1 国・三重県の動向 .....	6
(1) 国の動向 .....	6
(2) 三重県の動向 .....	7
2 運動・スポーツに関するアンケート調査から .....	8
(1) 市民の健康に関する意識 .....	8
(2) 市民の運動・スポーツの実施状況 .....	10
(3) 市民のスポーツ観戦 .....	13
(4) 市民と市のスポーツ施設等 .....	14
(5) 地域のスポーツ活動 .....	16
(6) 市民とスポーツボランティア活動 .....	17
(7) 障害者スポーツ .....	18
3 今後の取組みへの課題 .....	19
<b>第3章 計画の基本的な考え方</b> .....	21
1 計画の基本理念 .....	22
(1) スポーツ推進計画の基本理念 .....	22
2 計画の目標と取組み .....	23
(1) 目指す市民の姿 ～だれもがスポーツに親しむ～ .....	23
(2) 行政の取組み目標 ～目指す姿に向かってスポーツをめぐる環境を整える～ .....	23
3 計画推進のための施策体系図 .....	24

<b>第4章 施策の展開</b> .....	25
1 スポーツを「する」環境づくり .....	26
(1) 魅力あるスポーツ事業の展開 .....	27
(2) 子どもや高齢者、障害者のスポーツ活動の推進 .....	28
2 スポーツを「みる」環境づくり .....	29
(1) 市を挙げてのスポーツ応援の推進 .....	30
(2) より高いレベルの競技スポーツへの誘い .....	30
3 スポーツを「ささえる」環境づくり .....	31
(1) スポーツ団体・指導者等の育成と連携 .....	32
(2) 地元競技スポーツ選手への支援 .....	32
(3) 安全で快適なスポーツ施設の整備・充実 .....	33
(4) 利用が広がるスポーツ施設管理の推進 .....	33
<b>第5章 計画の推進と進行管理</b> .....	35
1 計画の推進 .....	36
2 計画の進行管理 .....	37
<b>資 料</b> .....	39
(1) 桑名市スポーツ推進計画の策定過程 .....	40
(2) 桑名市スポーツ推進審議会委員 .....	41



# 第 1 章 計画の策定概要

---

# 1 計画策定の趣旨

## (1) 計画策定の主旨と意義

桑名市は、平成16年の合併後、新市にふさわしいスポーツ文化の創造と、スポーツの振興の総合的かつ効果的な推進のため策定した「桑名市スポーツ振興計画」のもと、市独自の具体的な施策を掲げ市民のニーズに合ったスポーツ推進を図ってきました。

その間、スポーツをめぐる状況の大きな変化を踏まえた「スポーツ基本法」の施行と、同法に基づく国の「スポーツ基本計画」の策定を受け、本市においても平成25年3月に計画の見直しを行い、スポーツを取り巻く変化に対応しながら計画の推進に取り組んできました。

今後も、これまでの成果を活かしつつ、解決すべき課題に対応するため、新たに「桑名市スポーツ推進計画」を策定します。

この計画は、本市の総合計画に呼応し、市民が日頃からスポーツに関心を持ち親しむことで自身の心身の健康を保つとともに、地域のスポーツ活動が推進されるまちづくりを目指します。

## (2) 計画におけるスポーツの定義

ウォーキングから競技スポーツまで、市民の誰もが「する」スポーツ、そして「みる」スポーツ、「ささえる」スポーツのすべて

この計画では、子どもから高齢者まで、また障害の有無にかかわらずすべての市民が生涯にわたり、日常的に、スポーツをより身近なものとして、気軽に親しんでもらえるよう、「スポーツ」を幅広くとらえています。そこで、健康を意識した身近な散歩やウォーキングから勝敗や記録を競う競技スポーツまで、身体活動のすべてをスポーツとしてとらえます。さらに、こうした自らが体を動かすという「する」スポーツだけでなく、競技観戦などの「みる」スポーツや、地域のスポーツクラブや教室での指導、各種スポーツ行事・大会の運営ボランティアなどの「ささえる」スポーツも、「スポーツ」としてとらえます。

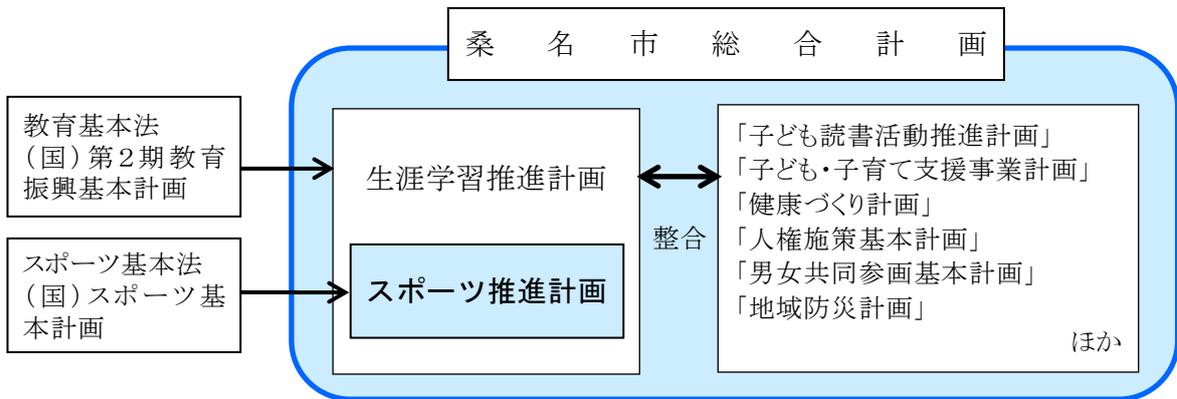
## 2 計画の位置づけと期間

### (1) 「桑名市総合計画」との関係

「桑名市総合計画」は、平成 27 年度（2015 年度）から 2024 年度までの 10 年間を計画期間として策定されました。総合計画が掲げる基本理念のもと、総合計画が目指す将来像を実現するために、その一翼を担い実施すべきスポーツ推進施策の体系を「スポーツ推進計画」で明らかにします。

### (2) 市の他の計画との関係

「桑名市生涯学習推進計画」（平成 28 年 11 月策定）は、市の文化・芸術、スポーツ、子育て、福祉、健康、男女共同参画など、様々な分野の活動にかかる事業を網羅的に含んで体系的に整理された計画となっており、学びを通して市民一人ひとりが自己を高め互いに学び合うことで、豊かで充実した人生や活性化する社会の実現を目指しています。「スポーツ推進計画」は、この計画との整合を図りながらスポーツによる人づくり、社会づくりを進めていきます。



### (3) 計画期間

本計画の期間は平成 31 年度からの 6 年間とし、総合計画・基本計画の見直しや社会情勢の変化などの動向を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

計画／年度	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	2023	2024
桑名市総合計画 (10 年間)	基本計画（前期）					基本計画（後期）				
スポーツ推進計画 (6 年間)						必要に応じ見直し				



## 第2章 計画策定の背景

---

# 1 国・三重県の動向

## (1) 国の動向

### ■『スポーツ基本計画』（平成24年度から10年間）

平成23年8月から施行の「スポーツ基本法」においては、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」とし、スポーツは、青少年の健全育成、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会の活力の創生、日本の国際的地位の向上など国民生活において多面にわたる役割を有するとされています。

このようなスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、スポーツ基本計画を策定し、今後10年間を見通したスポーツ推進の基本方針として、「年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参加することができる環境を整備すること」を基本的な政策課題としています。

また、平成29年度からの5年間における指針を定めた第2期スポーツ基本計画では、取り組む施策として、次の4つを定めています。

- ① スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、  
そのための人材育成・場の充実
- ② スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
- ③ 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
- ④ クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

## (2) 三重県の動向

### ■『三重県スポーツ推進計画』（平成27年度～平成30年度）

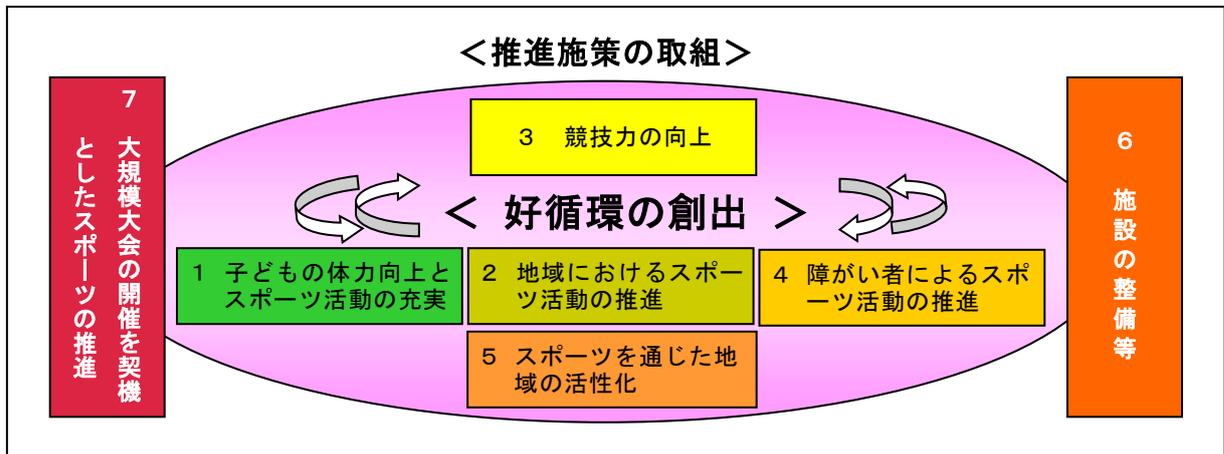
三重県を含む東海ブロック4県では、平成30年（2018年）の全国高等学校総合体育大会、2020年の全国中学校体育大会が開催され、さらに2021年には三重県が国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催地となっており、広く県民がスポーツにふれる好機であるとともに、三重県のスポーツ推進にかかる絶好の機会が到来します。

三重県では、こうした好機を的確にとらえ、県民がスポーツの価値を広く享受し、県民の力を結集した元気な三重県を目指すため、三重県スポーツ推進条例を制定し、平成27年4月から施行しています。

三重県スポーツ推進計画は、この条例が目指す姿を実現するため、次の7本の推進施策を掲げて取組みを進めることとしています。

- ① 子どもの体力向上とスポーツ活動の充実
- ② 地域におけるスポーツ活動の推進
- ③ 競技力の向上
- ④ 障がい者によるスポーツ活動の推進
- ⑤ スポーツを通じた地域の活性化
- ⑥ 施設の整備等
- ⑦ 大規模大会の開催を契機としたスポーツの推進

《三重県スポーツ推進計画 推進施策の取組イメージ》



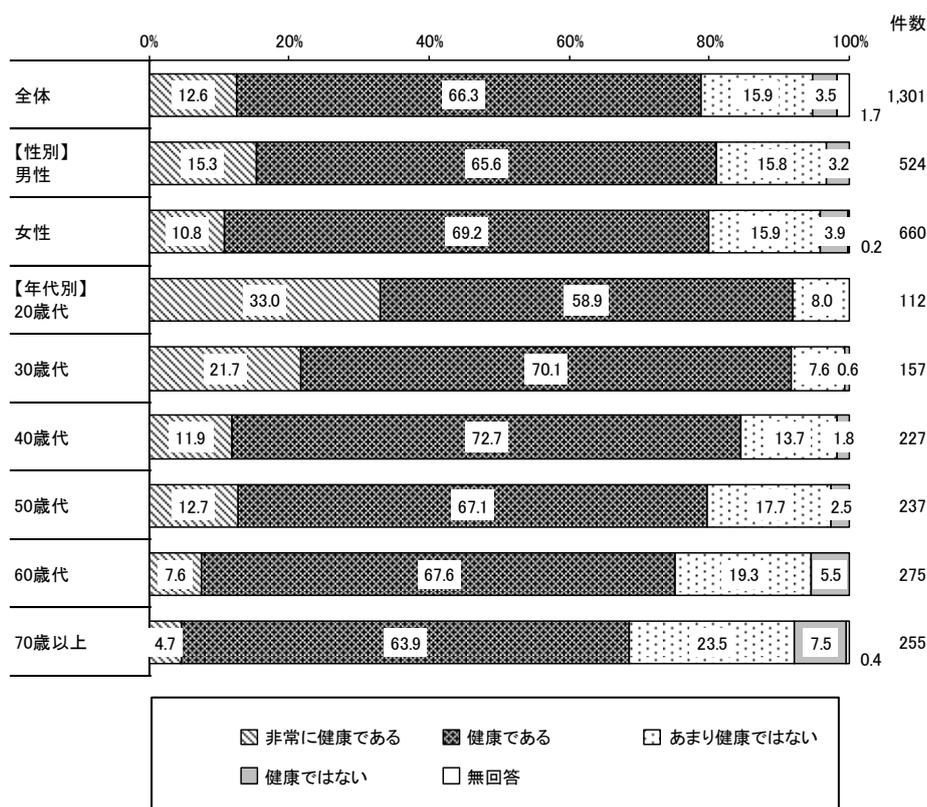
## 2 運動・スポーツに関するアンケート調査から

※このアンケート調査は、平成 29 年 9 月～10 月に郵送により、満 20 歳以上の市民 3,000 人をお願いして実施しました。回収した調査票は 1,301 件（回収率 43.4%）です。

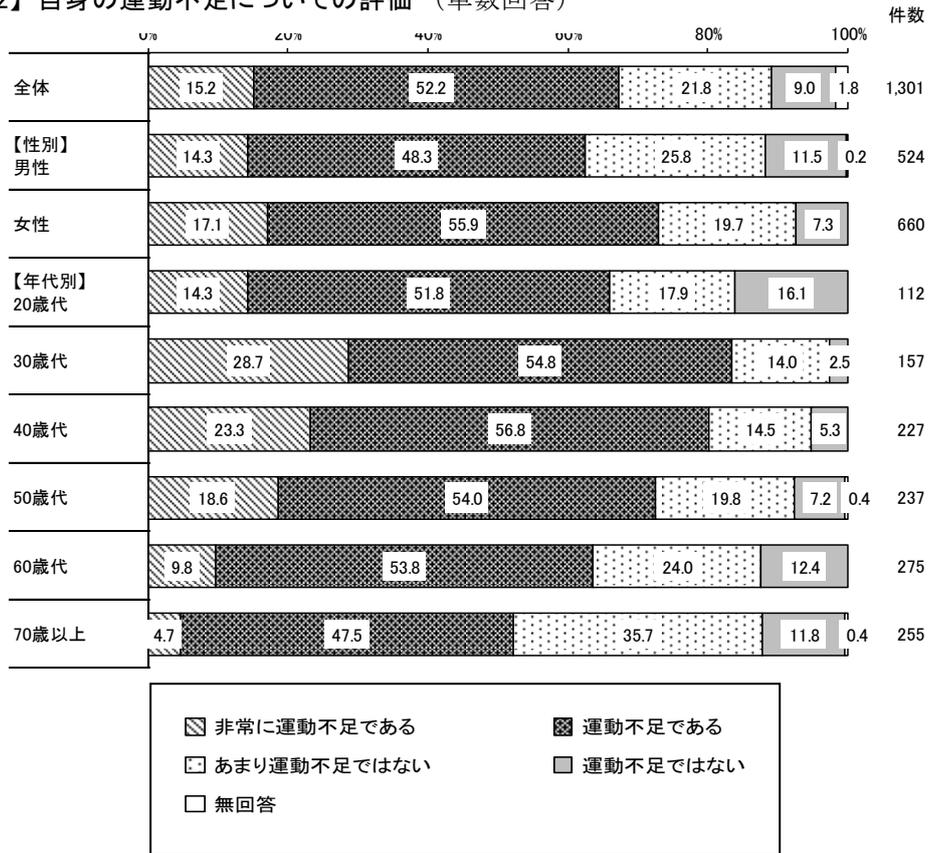
### （1）市民の健康に関する意識

自身が『健康である』（「非常に健康である」と「健康である」の合計）と思っている割合は、20 歳代が9割を超えて最も高く、年代が高くなるにつれその割合が低くなる傾向にあり、70 歳以上では6割台です（グラフ 1-1）。また、自身の運動不足度については、『運動不足である』（「非常に運動不足である」と「運動不足である」の合計）は、30 歳代と 40 歳代が8割を超えて高く、その年代以降は年代が高くなるにつれ低くなっていき、70 歳以上が5割と最も低くなっています（グラフ 1-2）。

【グラフ 1-1】主観的健康観（単数回答）



【グラフ1-2】自身の運動不足についての評価（単数回答）



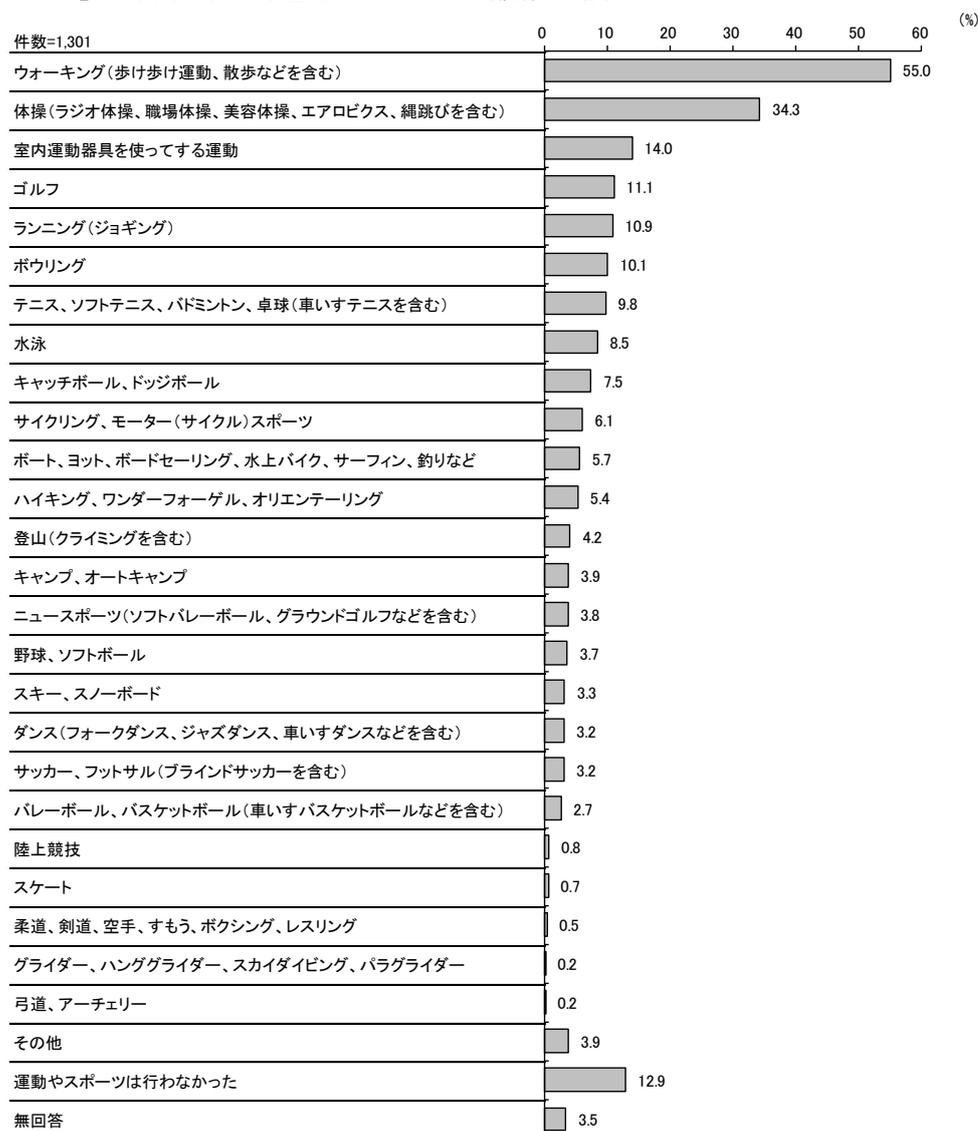
## (2) 市民の運動・スポーツの実施状況

1年間に何らかの運動やスポーツを行った人は8割を超えていて(「運動やスポーツは行わなかった」と「無回答」以外)、「ウォーキング(歩け歩け運動、散歩などを含む)」といった身近で手軽にできるものが多く行われています(グラフ2-1)。また、その頻度は、20歳代から50歳代までは「月に1~3日」が高く、60歳代以上では「週3~4日」が高くなっています(表2-1)。

一方、この1年間に「運動やスポーツは行わなかった」の理由では、「仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから」が最も高く(グラフ2-2)、今後、運動やスポーツを行うようになるためには、「通いやすい場所のできる」ことなど様々な条件(グラフ2-3)が必要です。

60歳代以上に比べ働く現役世代の多い層で運動やスポーツの頻度が低く、また、運動やスポーツを行わなかった人でも、今後、条件があれば運動やスポーツを行う意思があることがうかがえることから、市民に手近な運動・スポーツの機会や場とその効果を紹介することや、夫婦、友人、仲間たち(グラフ2-4)で参加する仕組みをつくることで、その関心を高め、するスポーツの機会を増やしていくことが必要です。

【グラフ2-1】1年間に行った運動やスポーツ(複数回答)



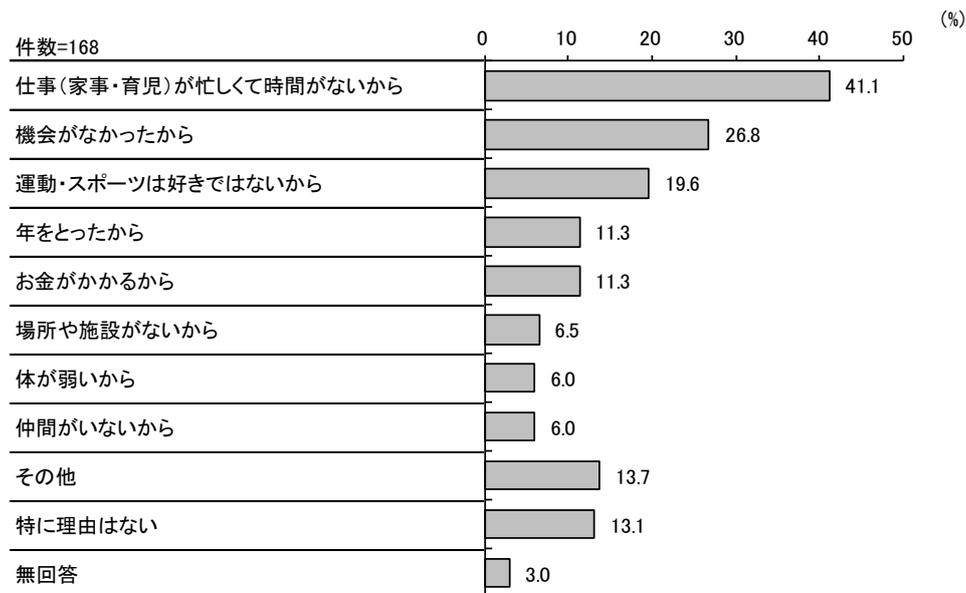
【表 2-1】 1年間に運動やスポーツを行った頻度（単数回答）

(%)	件数 (件)	週 5 日 以上	週 3 ～ 4 日	週 に 2 日	週 に 1 日	月 に 1 ～ 3 日	3 か 月 に 1 ～ 2 日	年 に 1 ～ 3 日	わ か ら な い	行 運 動 や ス ポ ー ツ は	無 回 答
全体	1,301	9.1	13.6	12.2	12.8	16.4	7.6	7.4	2.8	12.9	5.1
		47.7									
20歳代	112	6.3	11.6	4.5	15.2	25.0	8.9	11.6	5.4	8.9	2.7
30歳代	157	3.8	7.6	8.3	15.9	19.1	16.6	12.1	4.5	12.1	-
40歳代	227	5.7	6.2	9.3	12.8	21.6	11.5	13.2	3.1	14.1	2.6
50歳代	237	13.9	8.0	14.3	12.2	18.1	7.6	9.7	1.7	10.5	3.8
60歳代	275	8.0	23.3	14.5	14.5	11.3	2.9	2.2	2.2	14.9	6.2
70歳以上	255	12.9	17.6	17.3	9.4	11.0	3.1	1.6	2.0	14.9	10.2

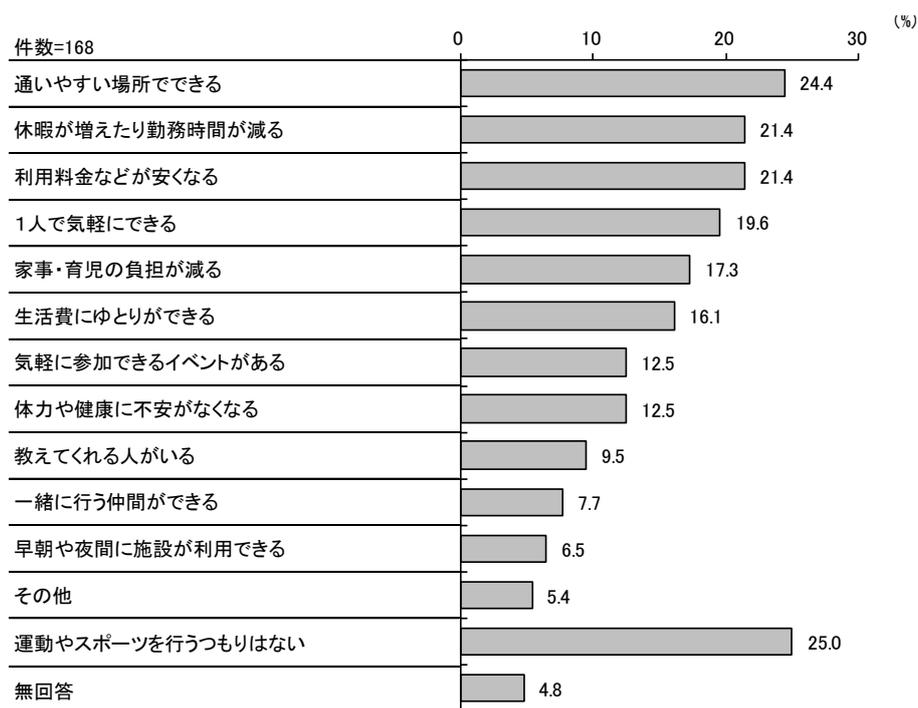
【表 2-2】 1年間に運動やスポーツを行った頻度（過去の調査）（単数回答）

(%)	件数 (件)	ほ ぼ 毎 日	週 に 3 回	週 に 2 回	週 に 1 回	2 週 間 に 1 回	1 か 月 に 1 回	3 か 月 に 1 回	半 年 に 1 回	1 年 に 1 回	い な い も 行 っ て
平成24年度 全体	1,147	9.9	11.4	9.8	13.3	6.6	8.7	6.3	7.0	4.5	22.4
		44.4									
平成19年度 全体	1,091	6.9	8.1	10.9	15.6	8.9	9.8	6.0	8.3	5.6	19.9
		41.5									

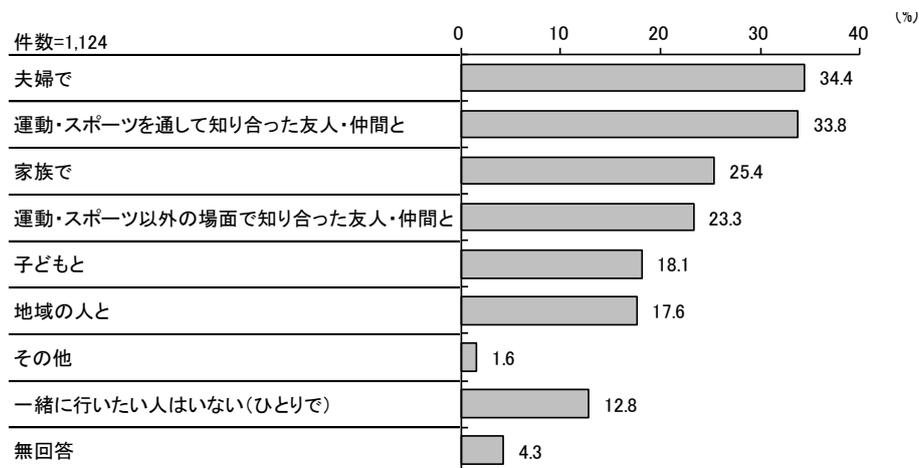
【グラフ 2-2】 1年間に運動やスポーツを行わなかった理由（複数回答）



【グラフ 2-3】 運動やスポーツを行わなかった人が、今後、運動やスポーツを行うための条件（複数回答）



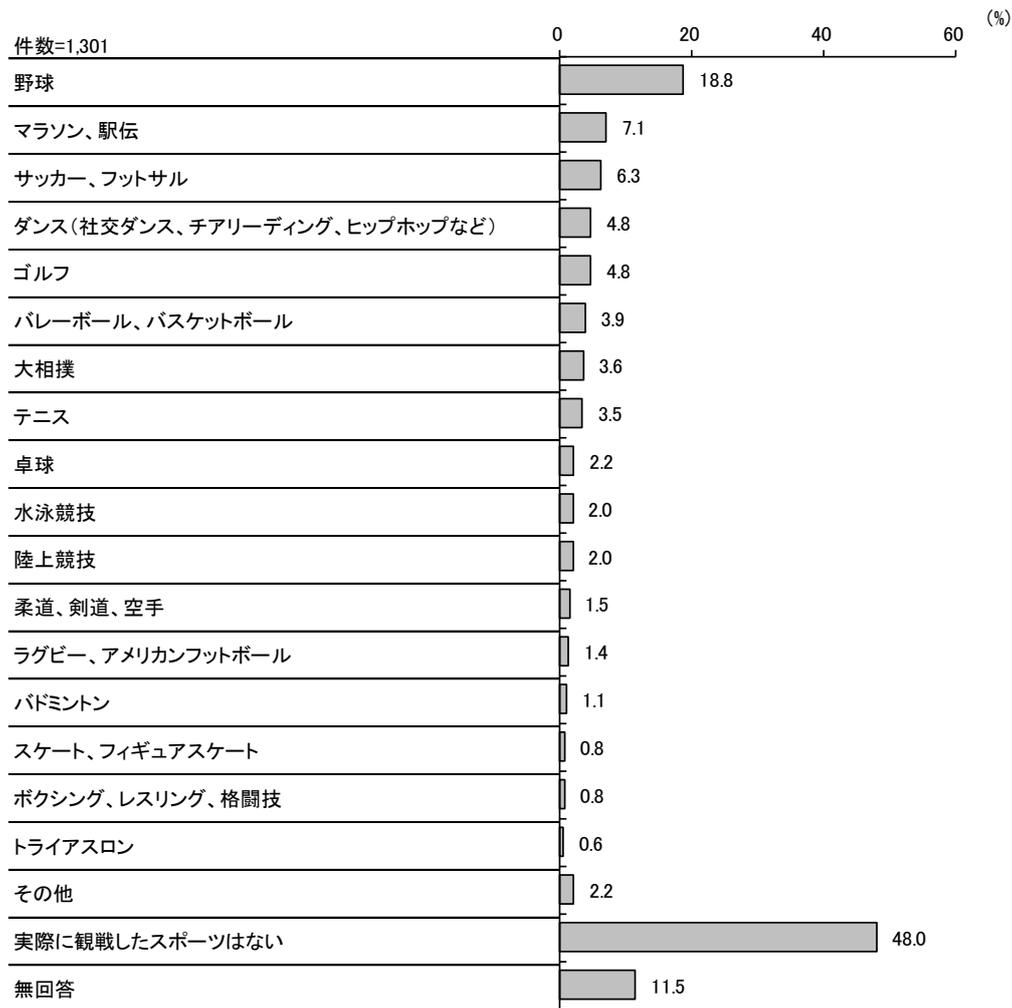
【グラフ 2-4】 今後、行ってみたいと思う運動やスポーツがある人で、それを一緒に行いたい人（複数回答）



### (3) 市民のスポーツ観戦

市民のスポーツ観戦の状況は、1年間に体育館・球技場・沿道等で『なんらかのスポーツを観戦したことがある』（全体から「実際に観戦したスポーツはない」と「無回答」を除いた割合）は4割で、観戦されたスポーツでも、「野球」以外はすべて1割未満です（**グラフ 3-1**）。アスリートにとって観客席や沿道からの直接の声援は、より優れた成績や演技への意欲を高め、実力の発揮につながります。今後、地元選手や地元チームを市民ぐるみで応援し盛り上げていくうえで、より多くの市民の関心を高め、観るスポーツの楽しさを広めていく必要があります。

【グラフ 3-1】1年間に体育館・球技場・沿道等で実際に観戦したスポーツ（複数回答）



#### (4) 市民と市のスポーツ施設等

1年間に市のスポーツ施設を「利用しなかった」人は8割弱で、身近に運動やスポーツの施設が「ある」人でも7割の人は施設を「利用しなかった」となっています(表 4-1)。「利用しなかった」理由の1位は、「利用の時間帯が合わないから」で、3位は「参加したいスポーツ教室がないから」です(グラフ 4-1)。

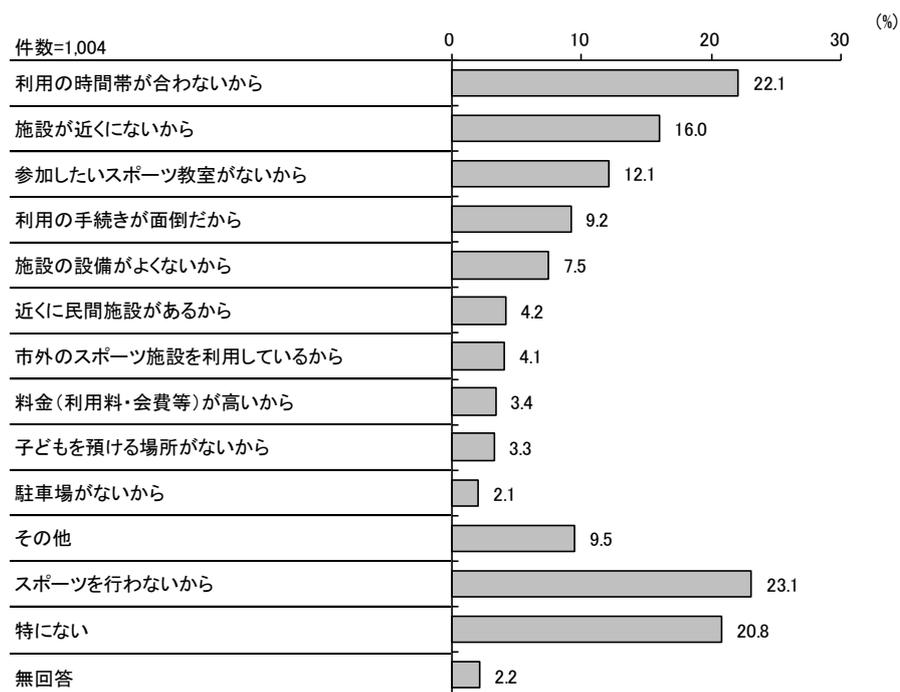
市や公共のスポーツ施設が開催するスポーツ行事・教室の認知度をみると、『知っている』(「よく知っている」と「知っている」の合計)は4割を下回っており(グラフ 4-2)、その『知っている』人でもこの1年間に「参加したことがある」は2割もありません(グラフ 4-3)。また、今後参加したいスポーツ行事・教室では、「健康・体力づくり」が5割近くとなっています(グラフ 4-4)。

今後、開催するスポーツ行事・教室には、その認知度の低さや参加の状況を踏まえ、これまで以上に市民のニーズに配慮した実施が求められます。

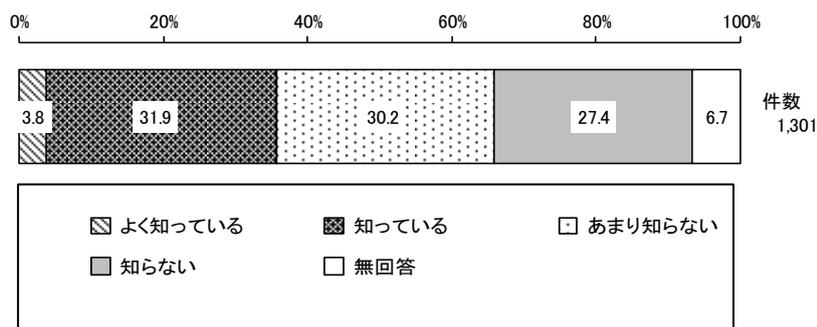
【表 4-1】 1年間の市のスポーツ施設の利用状況 (単数回答)

(%)	件数 (件)	利用した	利用しなかった	無回答
全体	1301	19.7	77.2	3.2
【身近な運動・スポーツ施設の有無別】				
ある	832	28.1	70.4	1.4
ない	192	9.9	88.5	1.6
わからない	254	1.2	95.3	3.5

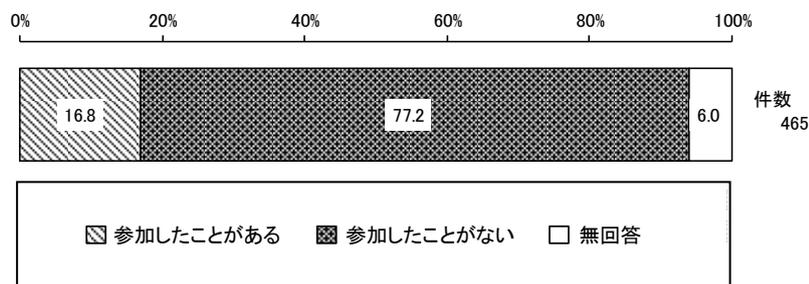
【グラフ 4-1】 市のスポーツ施設を利用しなかった理由 (複数回答)



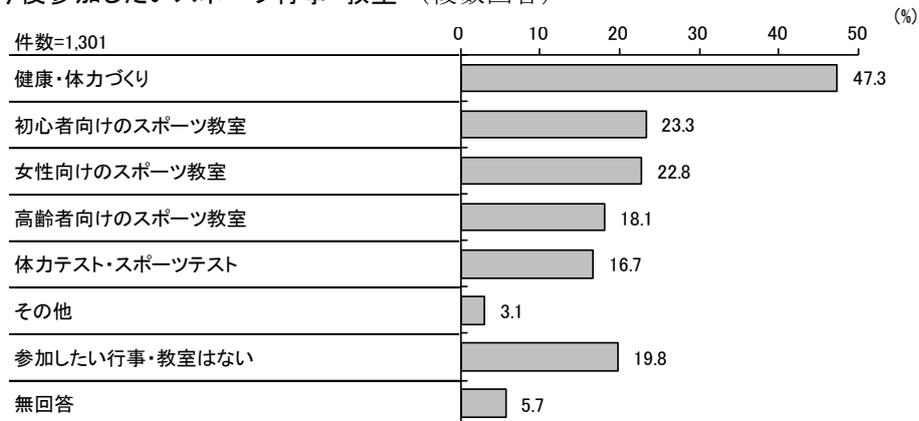
【グラフ 4-2】市や公共施設のスポーツ行事・教室の認知度（単数回答）



【グラフ 4-3】市や公共施設のスポーツ行事・教室を『知っている』人の参加状況（単数回答）



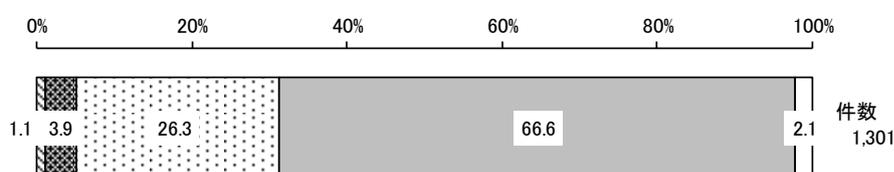
【グラフ 4-4】今後参加したいスポーツ行事・教室（複数回答）



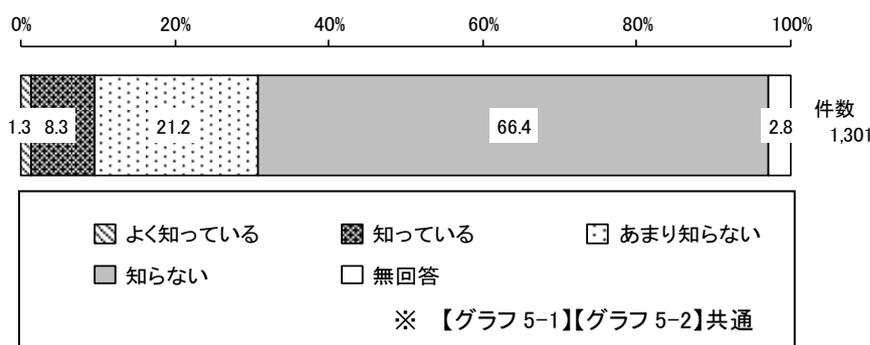
## (5) 地域のスポーツ活動

「総合型地域スポーツクラブ」を『知っている』（「よく知っている」と「知っている」の合計）は5%に過ぎず、ほとんどの市民は『知らない』（「あまり知らない」と「知らない」の合計）状況です（グラフ 5-1）。また、ニュースポーツの普及など、地域のスポーツ振興の推進役として活動しているスポーツ推進委員も9割近くが『知らない』状況です（グラフ 5-2）。こうした認知度ですが、スポーツ推進委員の活動には様々な要望があり、期待の高さがうかがえる（グラフ 5-3）ことから、今後、その活動や役割を広く伝え、市民の期待にこたえていくことができれば、地域のスポーツ活動の推進に大きくつながります。そのためには、周知とあわせ人材・団体の育成を図ることが必要です。

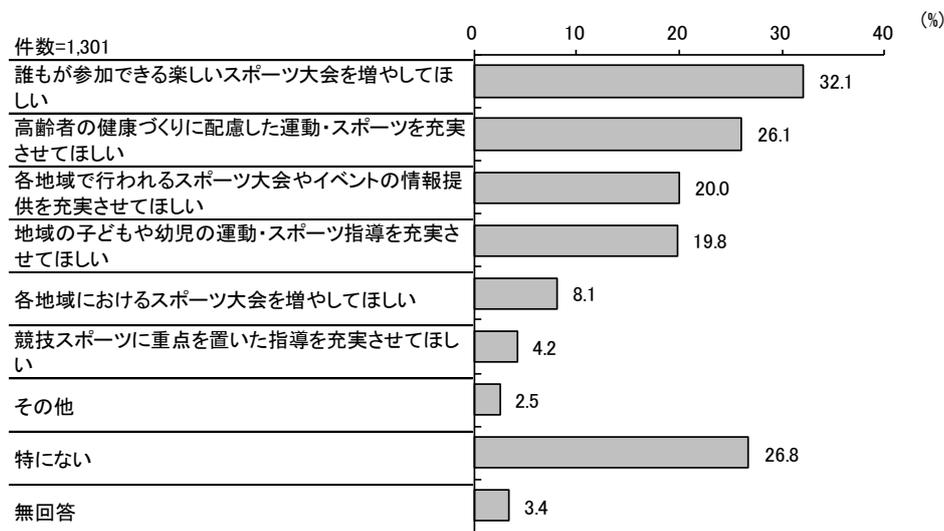
【グラフ 5-1】 総合型地域スポーツクラブの認知度（単数回答）



【グラフ 5-2】 スポーツ推進委員の認知度（単数回答）



【グラフ 5-3】 スポーツ推進委員の活動で力を入れてほしい点（複数回答）

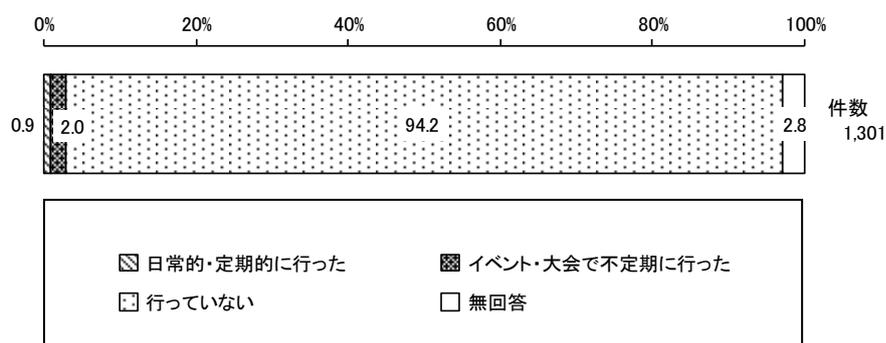


## (6) 市民とスポーツボランティア活動

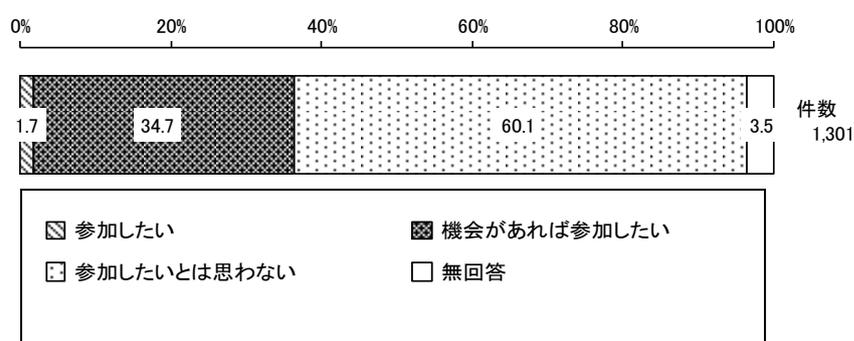
1年間のスポーツに関するボランティア活動経験は、「日常的・定期的に行った」や「イベント・大会で不定期に行った」は極めて低く(グラフ6-1)、また、ボランティア活動に「参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせても3割台にとどまっています(グラフ6-2)。

市のスポーツ行事等を推進するうえでもボランティアでの市民参加は欠かせません。市民がスポーツボランティア活動を通じ、互いの交流・連携が育まれるようなスポーツをささえる仕組みや市民参加のはたらきかけが必要です。

【グラフ 6-1】 1年間のスポーツに関するボランティア活動経験 (単数回答)



【グラフ 6-2】 スポーツに関するボランティア活動への参加意向 (単数回答)

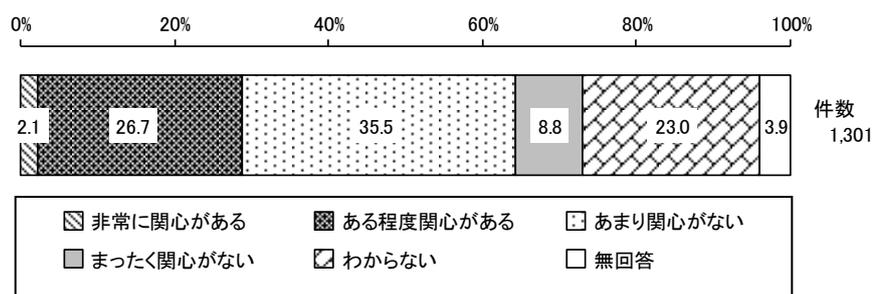


## (7) 障害者スポーツ

障害者スポーツへの関心度では、『関心がある』（「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計）は、3割弱と高くありません（グラフ7-1）。

2018年の平昌パラリンピックでは、多くのメダル獲得に国民の注目が集まりました。こうした大きな大会などの絶好の機会をとらえて障害者スポーツを盛りあげ、市民の関心を高めていくことが障害をもつ人々がスポーツに親しむきっかけにもつながります。

【グラフ7-1】障害者スポーツへの関心度（単数回答）



## 3 今後の取組みへの課題

これまでの計画の取組み状況と運動・スポーツに関するアンケート調査結果などを踏まえ、今後のスポーツ推進の取組みへの課題を「する」「みる」「ささえる」視点から整理しました。

### スポーツを「する」ために

家族や気の合う友人・仲間と気軽に参加できるスポーツやイベントは、仕事や家事・育児などで忙しい、スポーツをする機会がないなどの理由でスポーツを行っていない人たちが日常生活の中でスポーツを始めるきっかけとなり、継続してスポーツを行う動機となります。そのため、気軽に参加できることに加え、魅力のあるスポーツ事業を推進し、スポーツへの関心を高め市民のスポーツを「する」機会を増やしていく必要があります。

### スポーツを「みる」ために

スポーツを競技場や沿道で直接観戦することは、観る者にとって極限を追及するアスリートの姿に感動し、人生に活力が得られますが、一方、アスリートにとっては、直接の声援がより優れた成績への励みとなり力となります。とりわけ地元出身のアスリートやチームの試合・競技に駆けつけ声援を送ることは双方に感動と力を与え、より一層、地元とスポーツとのつながりを感じることであります。そのため、地元選手・チームの活躍や活動の紹介などを積極的に行ってそのスポーツへの関心を高め、これをきっかけに市民のスポーツを「みる」機会を増やしていくことが必要です。

### スポーツを「ささえる」ために

市民のスポーツへのニーズが多様化すれば、それに応えるため、様々なスポーツに対応できる指導者や専門スタッフなどの人材の育成や確保が必要となり、それには市内のスポーツ団体等の活動が欠かせません。そういう意味でもスポーツ団体等への支援と連携を強めていく必要があります。

また、市民のスポーツ活動をささえる市のスポーツ施設を手軽に利用できるためには、その利用のしやすさと周知の工夫の必要があります。



## 第3章 計画の基本的な考え方

---

# 1 計画の基本理念

## (1) スポーツ推進計画の基本理念

*だれもがスポーツに親しみ、健康に暮らせるまち桑名  
～スポーツをとおしてだれもが幸福で豊かに～*

運動やスポーツも含めすべての生涯学習活動は、一人ひとりの人生を豊かにし、その学びを通して人間関係を豊かにします。人間関係が豊かになった社会は、互いに信頼しあえる安全・安心な社会、協働しあえる社会をつくります。さらに、それは一人ひとりの生活や人生の豊かさに還元されていきます。

生涯学習活動は、その意味で「人づくり」「まちづくり」の土台を担うものといえますが、特に、運動・スポーツは、そのもっとも大切な主役である「人」の心身の健康増進に欠かせない学習活動です。

この基本理念には、子どもから高齢者まで、また障害の有無にかかわらずすべての市民がスポーツをより身近なものとして気軽に親しみ、ときには観るだけ、ときには飛び込んで身体を動かし、そして、次第に市民の自然な生活の一部になり、日常的に健康と体力の保持・増進が行われているまちづくりを目指す思いが込められています。

また、スポーツを通して親しい仲間と出会い、ともにスポーツを楽しみ、初心者には指導の手を差し延べ、高みを目指す者には応援で支え、みんながスポーツでつながり、結果として精神的にも互いに強く満たされている。このような、「スポーツを通して誰もが幸福で豊かな生活を営んでいる」姿への願いも込められています。

## 2 計画の目標と取組み

### (1) 目指す市民の姿 ～だれもがスポーツに親しむ～

桑名のまちづくりの主役である市民、その多くがスポーツに関心を持つようになり、健康で日常的にスポーツに親しんでいる——これが、本計画が目指すスポーツ施策推進の先にある市民の姿です。

### (2) 行政の取組み目標 ～目指す姿に向かってスポーツをめぐる環境を整える～

スポーツには、競技としてルールに則り他者と競い合い、自らの限界に挑戦するものから、散歩やダンス、ハイキングのような健康維持や仲間との交流などの多様な目的のものまで幅広くあります。こうしたスポーツを市民の誰もが楽しみ、喜びを得ることができるよう関わり方に応じて環境を整えることが必要です。

#### ■スポーツを「する」環境をつくる

市が開催するスポーツ大会やスポーツ教室は、市民の身近なスポーツをする機会となります。市民が誰でも分け隔てなく気軽に参加でき楽しめることに加え、何より魅力を感じるものであることを目指します。そして、これらの魅力を広く市民に伝えます。

#### ■スポーツを「みる」環境をつくる

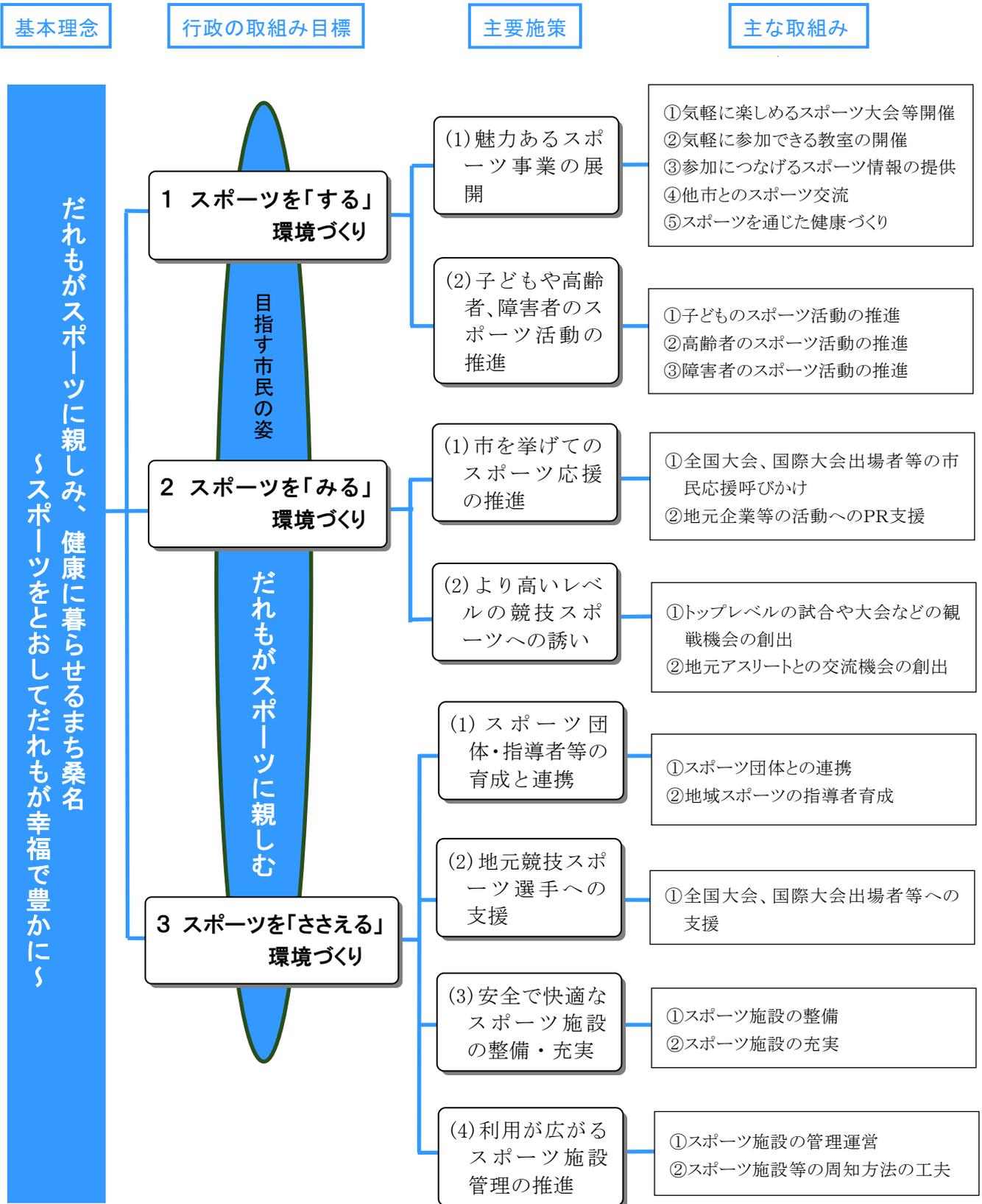
地元出身のアスリートの活躍を間近で応援することで、自らも身近に感動と活力が得られ、アスリートの「力」にもなります。多くの市民に呼びかけ、市民が一体となって盛りあげるとともに、観るスポーツの楽しさに触れる機会のきっかけづくりを行います。

#### ■スポーツを「ささえる」環境をつくる

スポーツ推進委員やスポーツ団体、或いは個人などが、指導、審判、スタッフ、サポーターなどでスポーツに関わり、交わり、共感し合うことにより地域社会の絆が強くなります。こうした人々や団体と育成・支援の連携を深めます。

また、スポーツ活動をさせていくために、安全で快適なスポーツ施設の整備・充実と運営に努めます。

# 3 計画推進のための施策体系図



## 第4章 施策の展開

---

# 1 スポーツを「する」環境づくり

(1) 魅力あるスポーツ事業の展開

(2) 子どもや高齢者、障害者のスポーツ活動の推進

## 方 向 性

子どもから高齢者まで、また障害の有無にかかわらずすべての市民が、そのライフステージなどに応じてスポーツをより身近なものとして気軽に親しみ、日常的に健康と体力の保持・増進が行われるよう、スポーツの楽しさや魅力を体感でき、スポーツを始めてみたい、スポーツを続けたいと感じる事業展開を進めます。

## 現 状 と 課 題

- アンケート調査によると、1年間に運動やスポーツを行った頻度で「週に1日」以上は47.7%<sup>1</sup>でしたが、これは、平成19年度調査の41.5%、平成24年度調査の44.4%と比べ僅かずつですが高くなってきています。市民の心身の健康の保持増進のためにも、魅力あるスポーツ事業を展開して市民のスポーツへの関心を高め、誰もが「週に一度はスポーツしています」という姿を目指す取組みを継続していく必要があります。
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、日本中でスポーツへの関心が次第に高まる中、三重県は2018年の全国高等学校総合体育大会、2020年の全国中学校体育大会、2021年の国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催地であり、とりわけ身近でスポーツに触れられる好機となっています。本市においても、この市民のスポーツ推進の機運を高めるチャンスです。
- 本市の平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果では、小中学校で男女ともに前年度の数値を上回り、小学校男子では初めて全国値を上回り、中学校でも年々数値が上昇傾向にあります。一方で、小学校女子では全国値を大きく下回りました。こうした児童生徒の実態も踏まえ、子どもたちが運動習慣を身につけられるような工夫が必要です。

<sup>1</sup> 【47.7%】1年間に何らかの運動やスポーツを行った人(1,088件)における頻度では、「週に1日」以上は57.1%であるが、過去の調査結果との比較のため、これに「運動やスポーツは行わなかった」と「無回答」を加えた全体(1,301件)における「週に1日」以上の割合は47.7%。

○本市の平均寿命は、男性 81.3 歳、女性 87.1 歳で、これに対し健康寿命<sup>2</sup>は、男性 78.9 歳、女性 81.5 歳です（桑名市地域包括ケア計画）。介護予防等の取組みにより、この健康寿命を延伸させることが重要です。市民には、自らの努力により、健康でいきいきとした生活を守ることが求められています。

○アンケート調査によると、障害者スポーツに『関心がある』は3割に満たない結果となっています。市民の障害者スポーツへの理解や関心の高まりといった意識の変化（心のバリアフリー）は、障害者スポーツのボランティア増加などにもつながり、障害者がスポーツに親しむうえで、スポーツ施設のバリアフリー化とともに不可欠です。

## 施策の展開

### （1）魅力あるスポーツ事業の展開

スポーツに興味・関心を持ち、始めてみたいと思う市民から、既にスポーツを行っている市民まで、日常的にスポーツに親しみ、スポーツのある生活を楽しむことができるよう、魅力あるスポーツ事業を展開します。

スポーツの楽しさを体感することを目的としたレクリエーション的なものをはじめ、市民の誰もが、気軽に参加でき、楽しむことができるスポーツ機会の充実に努めます。また、市民がそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じたスポーツ機会を選択できるよう、開催時期や開催時間帯などにも配慮した多様なスポーツの提供に努めます。

健康維持や運動不足対策としてウォーキングや健康体操といったスポーツによる健康づくりに取り組みます。

### 主な取組み

#### ① 気軽に楽しめるスポーツ大会等の開催

- 市民ニーズを考慮した、市民が参加したいと思うスポーツ大会の開催
- 親子や気の合う仲間と気軽に参加できるスポーツイベントの開催

#### ② 気軽に参加できるスポーツ教室の開催

- 市民の興味を誘い、参加しやすいニュースポーツ教室の開催

#### ③ 参加につなげるスポーツ情報の提供

- 市で開催するスポーツ大会・イベント・教室などの情報提供の工夫
- 市内スポーツ施設の利用方法や料金の情報の充実

#### ④ 他市とのスポーツ交流

- スポーツを通じた友好都市の人々との地域文化交流
- 長良川流域都市と連携したスポーツ交流

<sup>2</sup> 【健康寿命】介護保険法による介護認定（介護サービス）を受けることなく自立して心身ともに健康的な日常生活を営むことができる期間をいう。

## ⑤ スポーツを通じた健康づくり

- ウォーキングや健康体操などの身近なスポーツによる健康づくりの普及推進



### 【する】

ニュースポーツの「キンボール」を楽しむ小学生

## （２）子どもや高齢者、障害者のスポーツ活動の推進

学校での体育授業や運動部活動等のほか、地域においても、子どもの頃からスポーツに親しめるよう、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどでの自主活動の支援や親子や家族でスポーツを体験する機会の充実を図ります。

生きがづくりなど、高齢者を対象としたスポーツへのニーズの高まりを受け、高齢者の体力や運動能力に配慮したスポーツ機会の提供や、介護予防も視野に入れ、健康・体力の維持・向上につなぐスポーツ機会の提供を図ります。

また、障害者の健康増進や機能の維持・回復につなげる取組みとして、関係団体等とも連携し、市民の障害者スポーツへの関心を高め、障害者がスポーツに親しめる環境整備に努めます。

### 主な取組み

#### ① 子どものスポーツ活動の推進

- スポーツ少年団の活動への支援
- 子どもを対象にした総合型地域スポーツクラブによる事業の奨励
- 子ども向けスポーツ教室の充実

#### ② 高齢者のスポーツ活動の推進

- 高齢者福祉担当部署、高齢者の団体等との連携によるスポーツ機会の提供
- 高齢者の生きがづくりを目指したスポーツ教室の開催
- 高齢者の健康・体力に応じたスポーツイベント等の開催

#### ③ 障害者のスポーツ活動の推進

- 障害福祉担当部署、障害者の団体等との連携によるスポーツ機会の提供
- 市の広報媒体を活用した「障害者スポーツ」の普及推進
- 障害者の方が気軽にスポーツ活動に参加できるよう、市のスポーツ施設の改善

## 2 スポーツを「みる」環境づくり

(1) 市を挙げてのスポーツ応援の推進

(2) より高いレベルの競技スポーツへの誘い

### 方 向 性

スポーツを観るといふ関わり方は、スポーツに対して苦手意識を持つ人でも、気軽に行えるスポーツ活動であり、スポーツに関心を持ち、始めるきっかけにもつながります。市民や地元出身者、地元企業の出場する競技であればなおさらです。市を挙げての応援を機に、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツへの参加を促します。また、高いレベルでの試合や大会は、観る人に感動を与え、既にスポーツを行っている人の関心や意欲をもさらに高める効果が期待できます。こうしたスポーツの観戦・応援を通じて、市民のスポーツの裾野の拡大やスポーツへの意欲の高揚を図ります。

### 現 状 と 課 題

- アンケート調査によると、この1年間に観客席や沿道で実際になんらかのスポーツ観戦をしたことがあると答えた市民は約4割で、このスポーツ観戦にプロ選手の試合なども含まれていることを考えれば、地元選手や地元チームによる競技などの観戦は4割を下回ると考えられます。地元選手や地元チームを市民ぐるみで応援し盛りあげていくためにも、より多くの市民の関心を高め、試合や競技の観戦に駆けつけてもらえるような工夫の必要があります。
- トップレベルの試合や大会などを間近で観たり、トップアスリートと交流する機会を持つことは、そのスポーツへの関心や意欲を高めます。トップレベルの試合や大会などの誘致や、トップアスリートと市民とのスポーツ交流機会の創出が求められます。
- 岐阜県海津市にある長良川国際レガッタコースは、コース下流の長良川河口堰により水流がほとんどない静水域のボート競技コースとして国際的評価も高く、2005年にはアジアで初の世界ボート選手権が開催されました。桑名市は、海津市、愛知県愛西市と連携して「長良川2020東京五輪事前キャンプ誘致委員会」を設け、ボート競技のほか、トライアスロン競技、カヌースプリント競技などの誘致活動を行っており、誘致によるトップレベルの外国選手との交流が期待されています。

## 施策の展開

### (1) 市を挙げてのスポーツ応援の推進

「広報くわな」や市ホームページをはじめ、市の様々な広報媒体を活用して地元出身選手らが出場する大会等を市民に知らせ、応援を呼びかけます。また、地元でスポーツ活動する企業やスポーツクラブの情報発信も積極的に行い、市を挙げての盛りあげを図ります。

#### 主な取組み

#### ① 全国大会、国際大会出場者等の市民応援呼びかけ

- 市の広報紙「広報くわな」や市ホームページでの応援呼びかけ
- 市役所ロビーでのパネルなどを用いた活躍の姿の紹介
- 垂れ幕、横断幕、パブリックビューイング等による応援盛りあげ

#### ② 地元企業等の活動へのPR支援

- 地元企業やスポーツクラブによる活動のPR

### (2) より高いレベルの競技スポーツへの誘い

トップレベルの選手による試合や大会などの誘致に努め、間近で選手に触れる機会づくりを図ります。

また、地元アスリートによる技術指導やアドバイスなどの交流の機会づくりに努め、スポーツへの関心や技術力向上への意欲が一層高まるよう図ります。



#### 【みる】

桑名市をホームタウンとする「ヴィアティン三重」の応援

#### 主な取組み

#### ① トップレベルの試合や大会などの観戦機会の創出

- 東京五輪・パラリンピック ボート競技事前キャンプ地誘致活動
- 事前キャンプ選手との交流

#### ② 地元アスリートとの交流機会の創出

- 地元アスリートによる技術指導の機会の推進
- スポーツ親善大使<sup>3</sup>によるPR事業

<sup>3</sup> 【スポーツ親善大使】 スポーツに関する魅力や情報を広く桑名市内外に発信し、市のイメージアップとスポーツ振興を図る役割を持つ。現在、マラソン元世界王者の瀬古利彦氏とレスリング世界選手権金メダリストの高橋侑希氏の2名。

### 3 スポーツを「ささえる」環境づくり

(1) スポーツ団体・指導者等の育成と連携

(2) 地元競技スポーツ選手への支援

(3) 安全で快適なスポーツ施設の整備・充実

(4) 利用が広がる施設管理の推進

#### 方 向 性

市民のスポーツ活動の支援は、指導者や専門スタッフ、審判等のスポーツの専門家のほか、サポーターなど様々な人材によって行われており、こうした支援環境の維持・確保のため、引き続き市内のスポーツ団体と連携してこうした人材の育成を進めます。また、地元出身選手や団体に対し、市として激励会の開催などの支援を行います。

市のスポーツ水準の維持・向上には、市民へのスポーツ活動場所の提供も同時に必要であり、市民の安全で快適なスポーツ施設の利用が確保されるよう努めます。

#### 現 状 と 課 題

○桑名市体育協会、桑名市スポーツ少年団、桑名市スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブは、市と連携し、市民の生涯スポーツの推進に欠かせない役割を担ってきましたが、それぞれに、会員の高齢化、会員・団員の減少、指導者等のなり手不足などの課題を抱えており、対策が講じられています。市としても市民への広報・PRなどを通して人材育成や活動の支援を図る必要があります。

○全国大会、国際大会等への出場者に対しては、競技への意欲向上の一環としてこれまでも激励金の支給を行ってきましたが、競技意欲への影響を避けるためにも、激励金制度を縮小することなく継続する必要があります。

○市は、平成27年6月に策定した「桑名市公共施設等総合管理計画（平成26年度版）」の公共建築物の基本方針において、スポーツ施設を「年齢を問わず様々な方に利用され、市民の健康増進と体力の向上を促進するために重要な施設」と位置づけています。しかし、この管理計画の基本原則として、今後の50年間で公共建築物の総量を33%削減す

ると定める中、スポーツ施設においても、利用実態を踏まえた施設のあり方の検討が進められます。

○アンケート調査によると、1年間に市のスポーツ施設を利用しなかった市民は8割近くいて、その理由には、利用の時間帯が合わないことや施設が近くにないことなどが挙げられています。誰もがスポーツに親しみ参加できる環境づくりのためには、誰もが利用しやすい施設の配置や運用の工夫が求められます。また、スポーツに親しむ市民の増に対応するためには、学校施設開放も含め、既存施設の有効活用が欠かせません。

## 施策の展開

### (1) スポーツ団体・指導者等の育成と連携

競技団体やスポーツクラブに所属しての活動は、ともに活動する仲間ができることや継続的・組織的・計画的に活動ができること、所属する指導者による競技指導が受けられることなどのメリットがあり、市民がより主体的かつ継続的にスポーツを行ううえで大きな意義を持ちます。そのため、こうした団体等の活動を支援するなど、連携を進めます。

また、スポーツ推進委員のような地域でスポーツの実技指導や大会・教室の企画運営等を行える人材の育成や確保を図ります。

## 主な取組み

### ① スポーツ団体との連携

- 体育協会、スポーツ少年団と連携した各種目の事業の支援
- 総合型地域スポーツクラブの活動の支援
- スポーツ行事実施団体が実施する事業の後援

### ② 地域スポーツの指導者育成

- スポーツ推進委員の活動の支援と広報・PR
- 指導者等による情報ネットワークを活用した人材の発掘
- 指導者認定員講習の奨励



### 【ささえる】

桑名市スポーツ推進委員によるニュースポーツ(キンボール)のルール説明

### (2) 地元競技スポーツ選手への支援

全国大会や国際大会などに出場する地元選手や団体を市として激励することは、競技者の競技意欲を高め、大会での好成績をささえます。

また、大会で優秀な成績を収めた競技者へのねぎらいや感謝は、大きな励みとなり、今後の一層の競技力向上への意欲を高めます。地元の市として、こうした支援を推進します。

### 主な取組み

#### ① 全国大会、国際大会出場者等への支援

- 大会出場者の激励会の開催や市長表敬の実施
- 大会出場者への激励金
- 優秀な成績を収めた競技者による市長報告の実施

#### (3) 安全で快適なスポーツ施設の整備・充実

既存のスポーツ施設の老朽度や必要性、利用実態を踏まえ、施設の更新や整備などを計画的に進め、施設の再配置に取り組みます。

また、スポーツに親しみたい市民のニーズに広く応えるため、既存施設の安全対策やバリアフリー化を進めるとともに、設備・備品の更新を順次行い、施設の充実を図ります。

### 主な取組み

#### ① スポーツ施設の整備

- 総合運動公園などの施設整備

#### ② スポーツ施設の充実

- スポーツ施設の安全対策
- スポーツ施設設備等の更新

#### (4) 利用が広がるスポーツ施設管理の推進

アンケート調査などへの意見等を踏まえ、既存のスポーツ施設の施設管理の運用等の見直しに取り組みます。また、市民へのスポーツ施設や学校施設開放の周知方法を工夫するなど、市民が施設を身近に感じ、利用しやすい環境づくりを目指します。

### 主な取組み

#### ① スポーツ施設の管理運営

- スポーツ施設管理の運用の周知見直し
- わかりやすい施設予約システム利用の手引きへの見直し

#### ② スポーツ施設等の周知方法の工夫

- スポーツ施設の市ホームページ内容の見直し
- 学校施設開放の募集方法の見直し



## 第5章 計画の推進と進行管理

---

# 1 計画の推進

## 計画の推進体制

本計画に掲げる施策の総合的・効果的な推進を図るため、スポーツ推進委員、スポーツ団体、その他関係団体、地元企業、学校、スポーツ施設管理者、庁内関係部署など、多様な主体との連携・協力を図りながら取組みを進めます。

また、本計画の推進にあたっては、桑名市スポーツ推進審議会<sup>4</sup>での審議を踏まえ、取組みを進めていきます。

---

<sup>4</sup> 【桑名市スポーツ推進審議会】 スポーツ基本法の規定により設置され、市のスポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する。

## 2 計画の進行管理

### 計画の進行管理の方法

本計画の各取組みの進捗状況を管理し、実効性を検証するため、毎年、各取組みについて、実行内容、成果、次年度への課題や具体的な改善点（方向性）を確認・点検します。この評価結果を次年度以降の取組みに反映させることで、各取組みの充実・改善を図ります。

また、計画期間を通して、本計画が目指す市民の姿「誰もがスポーツに親しむ」の達成度を検証し、次期計画策定に生かすため、評価指標を定めます。

取組み目標	指標	指標の説明	基準指標 (2017年度)	達成目標 (2023年度)
スポーツに親しむ	スポーツ実施率	1年間に運動やスポーツを行った日数が週に1日以上割合	47.7%	55%



# 資料

---

- (1) 桑名市スポーツ推進計画の策定過程
- (2) 桑名市スポーツ推進審議会委員

(1) 桑名市スポーツ推進計画の策定過程

開催日等		内 容
平成 29 年	8 月 31 日	平成 29 年度第 1 回 桑名市スポーツ推進審議会 ・ 桑名市スポーツ推進計画策定スケジュール ・ 運動・スポーツに関するアンケート調査（案）
	9 月 29 日 ～10 月 25 日	運動・スポーツに関するアンケート調査の実施
平成 30 年	3 月 27 日	平成 29 年度第 2 回 桑名市スポーツ推進審議会 ・ 運動・スポーツに関するアンケート調査の報告 ・ 桑名市民の運動・スポーツに関する現状と課題について ・ 桑名市スポーツ推進計画素案等について
	12 月 5 日	平成 30 年度第 1 回 桑名市スポーツ推進審議会 ・ 桑名市スポーツ推進計画（案）について
	12 月 13 日 ～1 月 11 日	桑名市スポーツ推進計画（案）のパブリックコメント実施
平成 31 年	2 月 18 日	桑名市教育委員会の意見聴取 ・ 桑名市スポーツ推進計画（案）
	3 月	桑名市スポーツ推進審議会による承認 ・ 桑名市スポーツ推進計画（最終案）

## (2) 桑名市スポーツ推進審議会委員 (順不同、敬称略)

平成 29 年度

役 職	氏 名	出身団体等名称・役職
会長	西村 憲一	桑名市体育協会 会長
副会長	加納 岳拓	学識経験者 (三重大学教育学部 講師)
委員	向井 俊哉	桑名市スポーツ少年団 本部長
委員	中村 正隆	桑名市スポーツ推進委員会 会長
委員	岩谷 敏史	桑名市小中学校長会 (大成小学校長)
委員	葛谷 吉弘	桑名市中学校体育連盟 会長 (成徳中学校長)
委員	松田 勉	桑名市PTA連合会 代表 (城南小学校PTA会長)
委員	山本 久美子	スポーツクラブ陽だまりの丘
委員	鬼塚 絢子	ヴィアティンスポーツクラブ
委員	加藤 とも子	三重県トライアスロン協会 理事

平成 30 年度

役 職	氏 名	出身団体等名称・役職
会長	西村 憲一	桑名市体育協会 会長
副会長	加納 岳拓	学識経験者 (三重大学教育学部 准教授)
委員	向井 俊哉	桑名市スポーツ少年団 本部長
委員	蛭川 吉勝	桑名市スポーツ推進委員会 会長
委員	吉村 毅	桑名市小中学校長会 (多度中小中学校長)
委員	松田 勉	桑名市PTA連合会 代表 (城南小学校PTA会長)
委員	加藤 とも子	三重県トライアスロン協会 理事
委員	後藤 葉月	相好体操クラブ (SOHGOH)
委員	佐藤 かよ	ヴィアティンスポーツクラブ



## 桑名市スポーツ推進計画

平成 31 年( 2019 年) 3 月発行

発行:桑名市市民環境部地域コミュニティ局  
生涯学習・スポーツ課スポーツ振興室  
〒511-0068 三重県桑名市中央町三丁目 79 番地  
電話 0594-24-1251 FAX 0594-24-1355  
E-mail [sportm@city.kuwana.lg.jp](mailto:sportm@city.kuwana.lg.jp)  
市 HP <http://www.city.kuwana.lg.jp/>



本物力こそ桑名力